

1 活動名 知のチャレンジ KASUGA 事業（春日市）

2 調査の目的

(1) 本市における課題

親が現在の小中学生が学んでいる教科内容を具体的に体感する機会がない。

(2) 調査の必要性

教科内容に関して保護者が学ぶ（体感する）ことができる取組みを実施している現状を調査する必要がある。

(3) 調査項目

事業実施の経緯、内容、成果、市民の声、今後の課題

3 調査地選定理由

春日市では、国語・算数の難問へ親子で挑戦するという事業を実施しており、親子間の話題の共有ということに一定の成果をあげている。楽しみながら親子で取り組めるものとして有意義であり選定した。

4 調査結果

(1) 実施日 平成 29 年 11 月 28 日

(2) 出席者 3 名 近藤晴彦 上條美智子 勝野智行

(3) 結果

同市では「知のチャレンジ KASUGA」として、本年度で7回目となる親子で国語・算数の難問に挑戦するという事業を行っている。5年生、6年生とその保護者と一般市民が対象で当該学年の8月までに学んだ内容からの出題となっている。本年度の結果は、5年生、6年生ともに保護者が児童の点数を上回っており、面目躍如といったところかと思う。点数の分布により金賞・銀賞・銅賞の表彰を行っている。保護者、一般市民は100点満点の金賞のみとなっている。参加者の声としては、概ね好評で、アンケートでは来年度も参加したいとの答えが95%にのぼっている。受験者数が若干減少傾向にあり、いかに増やしていくかが課題と言える。

(4) 成果・所感等

親子の交流促進、学校教育への保護者の理解という観点で効果があると考え。本市としても取り組めないか、教育委員会へ提案していきたい。

5 政務活動費

(1) 使途項目 調査旅費

(2) 支出額 「かすが市民懇話会について」と同様